



6/28、30

防犯意識の向上を図りましょう 犯罪被害防止キャンペーン

茂原警察署では、本納地区の教育関係者や生徒を対象に、女性や子どもが被害者となる犯罪被害等の防止のため、防犯グッズ等の配布などのキャンペーンを行いました。

本納中学校生徒へは防犯グッズ等を配布し、茂原北陵高校女子生徒へは防犯講話・護身術訓練を実施。また、本納地区の小中学校教員や市職員はさすまた使用訓練を通して防犯意識の向上を図ることができました。



▲複数人で立ち向かう方法も指導



▲駅社員総出で作成した展示物を紹介してくれました

茂原七夕まつりに思いを馳せて 茂原駅茂原七夕まつり写真展

6/28～
7/31

新型コロナウイルス感染症の影響で、茂原七夕まつりが2年連続中止となったことを受け、茂原駅では、駅社員の池田可愛さんが企画した写真展が開催されました。

駅構内には、市が提供した昔の写真や七夕まつりの豆知識などが掲示され、駅利用者が短冊に願いを書き入れ飾るスペースも作成。

「七夕まつりの中止を残念に思っている方などを少しでも元気づけられたら。密は避けなければいけないけれど、立ち止まって見てくれる方を見ると心はつながっていると感じた」と語った池田さんの笑顔には優しさがあふれていました。

8/18

太陽光と天然ガスの融合 千葉県聖火フェスティバル「茂原市の火」採火式

市では、パラリンピック聖火に使われる火を採火するため、市民広場にて採火式を行いました。「茂原市の火」は、太陽光による種火と市の発展を支えた天然ガスをもとに作られ、パラスポーツの普及や支援を行っている認定市民活動団体「パラスポーツ茂原」幹事長井上英樹さんにより採火されました。

千葉県では、この採火式が各市町村で行われ、「千葉県の火」として一つに集火したあと、都内へ運ばれました。



▲「障害者にもスポーツを楽しんでほしい」とパラスポーツ茂原の皆さん



▲天然ガスを使用したバーナーから採火しました



▲集火台へ火を移す長生郡市の代表者ら